# ミルタノシム 劇場

©吉田戦車／小学館

## 映画「すばらしき世界」

# 世の中の本質を突く

西川 美和監督

## 元殺人犯 社会復帰の道は

「ゆれる」「永い言い訳」など、自作の脚本で人間や対人関係の複雑さを描いてきた西川美和監督＝写真＝が、新作「すばらしき世界」（公開中）で、元殺人犯の社会復帰というテーマから、現代人の生き方、社会のあり方を俯瞰する。

西川監督にとって、初の原作もの。佐木隆三が一九九〇年に発表した小説「身分帳」を原案にした。実在した男性の刑務所での個人記録から、出所後の道程をつづる。佐木作品のファンだった西川監督が「読んだ瞬間、映画にしたいと思った」。三年以上かけて、時代設定を現代に移した脚本を完成させた。

人生の大半を獄中で過ごし、十三年ぶりに出所した元ヤクザの三上（役所広司）が主人公。更生を決意するが、世間の目や時代変化によるギャップ、自身の健康問題などの壁に直面する。自制心が試される三上を支えたり、利用しようとしたりする人々からは、世の中の本質を突くような印象的なせりふが飛び出す。

「時間をかけて脚本を作る長い旅で、いろいろな人に出会って人間性に触れながら出てきた言葉」と西川監督。行政や刑務所、元服役者や支援者らへの取材から、現実の厳しさと温かさ、双方を知ったという。「主人公の七転八倒を見る話かと思いきや、彼を通して社会を見せられていることに、自分も途中で気づいた」と語る。

面白い小説がいい映画になるとは限らず、敬遠してきた原作ものだったが、「誰も目を付けない作品だろうと奮起した。自分のものにできたと思う」と自信を見せた。（古谷祥子）

「すばらしき世界」の一場面

## 「ベスト映画」1位に「海辺の映画館」

### 日本映画ペンクラブが選出

映画評論家らでつくる日本映画ペンクラブが、2020年公開の映画を対象に選んだ「ベスト映画」を発表し、日本映画は大林宣彦監督の「海辺の映画館　キネマの玉手箱」が１位となった。映画界に多大な貢献をした団体、個人に贈る「日本映画ペンクラブ賞」は、小規模映画館を守ろうと深田晃司監督らが立ち上げたクラウドファンディング「ミニシアター・エイド基金」に決まった。

外国映画１位はポン・ジュノ監督の「パラサイト　半地下の家族」、文化映画１位は豊島圭介監督の「三島由紀夫VS東大全共闘　50年目の真実」。日本映画と外国映画の２位以下の主な作品は次の通り。

【日本映画】②スパイの妻③アンダードッグ④罪の声⑤朝が来る【外国映画】②ジョジョ・ラビット③ストーリー・オブ・マイライフ　わたしの若草物語④ジュディ　虹の彼方に⑤「はちどり」「異端の鳥」

## 全国映画ランキング

2月13～14日 興行通信社調べ

| 前週 | | 公開日 |
|---|---|---|
| 1 | （1）花束みたいな恋をした | 1/29 |
| 2 | （新）名探偵コナン 緋色の不在証明 | 2/11 |
| 3 | （2）劇場版「鬼滅の刃」無限列車編 | 10/16 |
| 4 | （新）ファーストラヴ | 2/11 |
| 5 | （3）樹海村 | 2/5 |
| 6 | （新）すばらしき世界 | 2/11 |
| 7 | （5）銀魂 THE FINAL | 1/8 |
| 8 | （4）映画 えんとつ町のプペル | 12/25 |
| 9 | （7）劇場版ポケットモンスター ココ | 12/25 |
| 10 | （6）ヤクザと家族 The Family | 1/29 |

## 映画「痛くない死に方」

# 病院？ 在宅？「いかに死ぬか」考えるきっかけに

終末期の在宅医療をテーマにした映画「痛くない死に方」が、20日から公開される。「自分なりの死に方の提案」と話す高橋伴明監督（71）の最新作で、高橋監督の30年来の盟友という奥田瑛二（70）も出演する。２人が、死生観も含めて作品に込めた思いとは―。（藤原哲也）

「痛くない死に方」より。奥田瑛二㊨と柄本佑

**あらすじ**

在宅医の河田（柄本佑）は、末期の肺がん患者を苦しませたまま死なせてしまう。悩んだ河田は在宅医の先輩、長野（奥田瑛二）に相談。河田は長野の下で在宅医としての考えを学んでいく。やがて河田は末期の肺がん患者の本多（宇崎竜童）を担当する。

### モデルの在宅医ドキュメンタリーも

長野役のモデルであり、兵庫県尼崎市の在宅医、長尾和宏の著書が原作。長尾の日常を追ったドキュメンタリー映画「けったいな町医者」（毛利安孝監督）が東京・銀座のシネスイッチで19日まで上映中。各地で順次公開予定。

## 盟友の２人 緊張感持ち作品に挑む

「六十五歳を過ぎて自分がどう死にたいか思い始めた。早死にの家系でもあったので」と高橋監督。死に関する本を読みあさる中で出合ったのが、在宅医療のスペシャリスト、長尾和宏の原作だった。病院か在宅か、穏やかな死とは？そんな問いに答えるように、オリジナル部分を加えて脚本も書いた。

悩みながら成長する主人公の在宅医役に柄本佑㊨を起用、その若き医師を導くのが奥田だ。実生活で奥田の次女、安藤サクラが柄本の妻。高橋監督にとって、この舅と婿の共演は奥田主演の二〇一五年の「赤い玉、」以来となる。「（主演を）裏返しでやるのも自分の中で面白がれる部分があった」と話す。

そんな高橋監督の思いを察してか、奥田は二つ返事で出演依頼を承諾。「監督の気心もよく分かっているが、なれ合いは一切排除する人。逆に受けた以上は作品を壊せない思いがあった。まして義理の息子が主演。撮影前はこんなに苦労しなくてもというぐらい台本を読み込んだ」

だが、気負いすぎたのか撮影本番で、あるせりふでNGを連発したという。「生きることは食べること」。柄本に在宅医の心構えを説く重要なくだりだが、「食べることは生きること」と繰り返してしまった。「普段はすぐ修正できるのに。いまだに引っ掛かっている」と苦笑いする。それでも重要な一節を繰り返したことで「今でも自分の中にせりふの意味が残っている」と振り返る。

物語後半では、柄本と患者が川柳で心を通じ合わせる印象的な場面が続く。軽妙でどこか物悲しい川柳はすべて高橋監督が考えた。「言いたいことが山ほどあったが、せりふではダサいと思い川柳にした。『川柳で救われた』という反応もあるので良かった」

奥田もこの場面を「生きる力を川柳がフォローしていて面白い」と激賞。さらに「監督とは作品を重ねるほど緊張感が増してくる。でも、その緊張感がまた居心地が良かったりするの」とにこやかな表情で盟友への思いを口にした。

七十歳を過ぎた二人が作品で伝えたい「死に方」とは？「自分の死に方はまだなかなか決められない時代だが、何となく考えは持っていてほしい」と高橋監督。奥田は「自己否定しない死に方をしてほしい」と力説すると、こう明かした。「僕は元々、自分の寿命を決めていて家族に伝えている。作品が自分の生き方とも重なり合うから、今でも持っている台本がバイブルになっている」

## 今日のテレビ地獄

●徹子の部屋

★朝日系（葛山信吾）が演じてとくなり、毒物死と分かる。糸也）は、新庄のポ…ていたマウスピ…

ゲストは元女子卓球選手の男性…福原愛。五年前、…現在は生活の拠点…き、夫と二人の子…母親の五人で暮ら…娘は三歳になり、…を始めた年齢に…供には卓球選手だ…隠していると明か…

●ぐるナイ

★日テレ系…

「ゴチになりま…は、ゲストに岡田…の花江夏樹を迎え…夢中になっている…クションを公開す…イメージとは違う…の出演者たちは…は、憧れのせりふ…クエストし、大興…

●アンビリバボー

★フジ系…

「誰でも知って…曲の誰も知らな…ャル」と題し、…OASOBI、…／、KingGn…を彩った坂本九…にまつわる秘話を…盗作を疑われた…・ワンダーを救っ…のエピソードも…

●ナゼそこ？日本…

★東京…

長野県のスキー…デのすぐ横で、四…の間、一人で家を…いる男性に密着す…りの家を造る理由…彼の半生をたどる…バーモント州で暮…女性の人生を紹介…聞く。ゲストは福…タッチャブルの柴…

●遺留捜査

★朝日系…

ジャズサックス…

★MX１＝後８：00

本紙の清水孝幸編集局次長が、東京の最新のコロナ情報を解説する。